

## 情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

西暦 2025 年 10 月 10 日作成 第 1.0 版

研究課題名	難治性疼痛・しびれをきたす脊椎脊髄変性疾患・末梢神経絞扼性障害に対する病態、鑑別疾患、治療、予後の解明
研究の対象	2006 年 4 月 1 日から 2036 年 3 月 31 日までの間に、横浜市立大学附属病院脳神経外科および札幌禎心会病院 脳神経外科において、脊椎脊髄変性疾患・末梢神経絞扼性障害と診断された患者さん（あるいは疑いのある患者さん）を対象とします。
研究の目的	<p>手足のしびれや痛みが長く続く原因の中には、手術によって治療できる病気があります。代表的なのが「脊椎・脊髄の病気」と「末梢神経の病気」です。</p> <p>脊椎脊髄の病気には、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、靭帯骨化症などがあります。これらは、年齢を重ねることで背骨やその周りの組織が変化し、神経を圧迫して手足のしびれや力の入りにくさを引き起こします。日本では高齢化によりこのような病気が増えており、健康に長く生活するうえで大きな問題になっています。</p> <p>一方で、末梢神経絞扼性障害と呼ばれる病気も、同じようにしびれや痛みの原因になります。これは、神経が体の一部分で圧迫されて起こる病気で、手の「手根管症候群」、肘の「肘部管症候群」、足の「足根管症候群」などが代表的です。</p> <p>これらの病気は、症状が脊椎脊髄の病気とよく似ているため、区別がむずかしいことがあります。また、両方の病気を同時に持っている方も少なくありません。そのため、それぞれの病気の特徴や原因を詳しく調べ、正しく診断し、最適な治療を行うことがとても大切です。</p>
研究の方法	治療前後の神経症状と画像検査や生理学的検査の推移について調べます。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 12 月 25 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2040 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2025 年 12 月 25 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	<p>【情報】診療録から以下の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景情報：年齢、性別、既往歴、内服中の薬等</li> <li>・血液検査項目： <ul style="list-style-type: none"> <li>血算（赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板等）</li> <li>生化学（肝機能：AST、ALT、LDH、ALP、TC、Alb 等）</li> <li>凝固（プロトロンビン時間、フィブリノーゲン等）</li> <li>腫瘍マーカー（AFP、CEA、CA19-9 等）</li> </ul> </li> <li>・画像検査の情報：レントゲン、MRI、CT 等</li> <li>・その他の検査結果：心電図、神経所見、神経伝導速度検査、電流知覚閾値測定等</li> <li>・手術の情報：術式、合併症等</li> <li>・治療の情報：副作用、治療の効果等</li> </ul>

## 情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

試料・情報の授受	<p>本研究では、「研究組織」に記載されている「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から上の情報の提供を受けて実施します。</p> <p>「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から提供を受ける際は、情報を USB に保存し、パスワードをかけた状態で追跡可能な方法で郵送されます。</p> <p>情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。</p>
個人情報の管理	<p>情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはできませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。</p> <p>「既存試料・情報の提供のみを行う機関」においても、同様に対応表の作成をし、同機関で管理されますので、当院へ個人を特定できる情報が提供されることはありません。</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属病院 脳神経外科 本郷 剛</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、研究費を必要としない研究です。本研究における開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 脳神経外科 （研究責任者） 本郷 剛</p> <p>【既存情報の提供のみを行う機関と責任者】 札幌禎心会病院 脳神経外科 （研究責任者） 田中 貴大</p>

## 情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

また、本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 脳神経外科 （研究責任者・問い合わせ担当者）本郷 剛

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2866